

エゾシカカフェ店主敬白

VOL.57 2011/8/12

こんにちは、エゾシカカフェ店主の石崎です。

エゾシカカフェは、そのまま名前の通り、エゾシカ料理をご提供するカフェですが、本当のコンセプトは、「エゾシカ好きのオーラをあてて、エゾシカ大好きにさせる」ことにあります。

店主敬白も、皆さんにエゾシカのことをもっと知ってもらい、しかも大好きになってもらうためのものです。肩肘張らず、軽い気持ちで読んでみるしかない？

ハンターは、食肉生産業者っていう『職業』

皆さんは、鉄砲を持っているハンター（猟師）というと、どんなイメージを持ちますか？少し怖い、野蛮、残酷といったイメージを持っている？

実は、今日皆さんが食べたエゾシカ肉はハンターが鉄砲で獲ったモノです。美味しかったですか？それは、(残念ながら)店主の腕ではなく、ハンターの腕のおかげなんです。ハンターがエゾシカを一撃で倒す技術を持っているからこそ美味しいお肉を食べることができるわけです。つまり、エゾシカカフェにとっては、ハンターは肉の生産業者であるわけです。



野生動物と軋轢を解消するワイルドライフマネージャー

すべての捕獲した野生動物が食用に適しているわけではありません。品質、経済的・・・などなどにより、食用にならない捕獲方法で獲り、廃棄してしまう野生動物も多いです。んじゃ、ハンターはなんのために、鉄砲を使って野生動物を獲っているんでしょうか？

それは、野生動物を人間の軋轢を解消するためなんです。増えた野生動物は人間社会や、自然環境に大きな影響を与え、無視できないほどになっています。で、ハンター達はそんな軋轢を解消するために、日々活躍してくれているわけです。これって、ワイルドライフマネージャじゃないでしょうか？海外では、ワイルドライフマネージャーという職業で活躍するハンターもいて、国立公園や、自治体に雇われていたりします。

どうでしょうか？ハンターって怖い人たちではなく、実は野生動物と人間の間に立ち、その軋轢を解消する役割をもっているんです。今までのイメージをちょっと変えて見てみませんか？

※なお、シカシャフ義捐金：前回までで 52,000 円越えました！（14T 含む）ありがとうございます。

東北大地震へのシャフシャフ義捐金はおしまいです！（また別のをやりますね。よろしくお願いします！）

あ、HANAKO 999 号に出ました！！（買って見てみて。いちおう、コピーもって来てますが・・・）